

平成 27 年度
麗澤大学
国際理解特別講座

(高等学校と麗澤大学との連携教育に関する協定に基づく特別講座)



開講期間：平成 27 年 5 月 9 日 (土) ~ 平成 27 年 8 月 7 日 (金)

国際理解特別講座について

この講座は、麗澤大学が高大連携教育の一環として開設した高校生のための専門的な授業とキャリア形成を目的とした講座です。

今年度の国際理解特別講座は、5月から8月にかけて19の講座を開講します。

麗澤大学の教員19名が「21世紀の国際理解」という総合テーマのもと国際理解に役立つさまざまな講義を展開します。

高校生諸君には、この講座を通じて国際化の時代の中で真の国際理解に役立つ知識を吸収し、将来の勉学の糧にしていいただければ幸いです。

1. 平成27年度 国際理解特別講座（高大連携講座） 日程

回	月日	曜日	コマ数	講座回数	時間分/コマ	講義区分	担当者 (敬称略)	テーマ
1	5月9日	土	1		90	特別講義1	下田 健人〔経〕	国際社会に生きる
2	5月16日	土	2		75	A. 欧米の社会と文化	ミカド アダム マシュー〔経〕	文化がコミュニケーションに及ぼす影響とは
					75		佐藤 蘭香〔外〕	多文化社会と英語
3	5月30日	土	2		75		竹内 拓史〔外〕	ヨーロッパの言語と文化 - 英語圏以外の文化に触れるおもしろさを知ろう -
					75		トリファン マウイン〔外〕	An Introduction to British Culture
4	6月13日	土	2		75	B. 国際関係と国際社会	大場 裕之〔経〕	国際人って、どんな人間？
					75		堀内 一史〔経〕	国際社会とアメリカ
5	6月20日	土	2		75		阿久根優子〔経〕	グローバル化する日本の食料・農業
					75		ヨネスク・マグダレーナ〔外〕	身近な所から考える国際社会における日本の役割
6	6月27日	土	1		90	特別講義2	渡邊 信〔外〕	映画・テレビ番組を使ってネイティブの英語を学ぶ！
7	7月18日	土	2		75	C. いま、アジアを知る	齋藤 貴志〔外〕	中国の言語と文化について
					75		岩澤 知子〔外〕	現代に息づく神話の心 - 日本人の心のルーツを探る -
8	7月25日	土	2		75		森 勇俊〔外〕	韓国の言語と文化
					75		金丸 良子〔外〕	多民族国家中国・中国にせまる
9	8月1日	土	2		75	D. 世界の経済と グローバルビジネス	溝口 哲郎〔経〕	腐敗と汚職の経済分析
					75		陳 玉雄〔経〕	日中互敬と経済の未来
10	8月6日	木	2		75		篠藤 涼子〔経〕	会社の成績表を読み解いてみない？ オール5の会社はどこだ
					75		徳永 澄憲〔経〕	環太平洋パートナーシップ協定（TPP）締結による 我が国経済への影響
11	8月7日	金	1		90	特別講義3	小野 宏哉〔経〕	身近な国際理解

<通常講義時間帯> 時限目：9：20～10：35、時限目：10：45～12：00

<特別講義時間帯> 9：20～10：50

5月9日（土）は、9：00より開講式、8月7日（金）は、講義終了後11：00より閉講式を行います。

2. 参加方法

この講座に参加するためには、参加を希望する生徒が在籍する高等学校と本学との間で「連携教育に関する協定書」により協定を締結する必要があります。

参加資格	高等学校第1学年～第3学年に在学する生徒
募集人数	100名(定員になり次第締め切ります。)
申込期間	平成27年4月6日(月)～24日(金)
申込方法	各高等学校で参加者名簿を取りまとめて一括で出願
費用	受講料は無料、手続費用として登録料2,000円
申込書類等	1. 国際理解特別講座申込書 2. 参加者名簿 3. 参加者の写真 1枚(ﾀﾞｲ4cm×ｺﾞｺ3cm)[裏面に学校名と氏名を記入]

3. 開講および受講方法

開講日時	日程表に掲載の日時に開講 各開講日には1コマ75分の授業を2コマ実施 (ただし、5/9、6/27、8/7は90分の授業を1コマ実施)
開講回数	年11回(平成27年5月9日～平成27年8月7日)
担当者	本学専任教員
使用教室	2407教室(校舎あすなる4階)
出欠確認	毎回の講座で受講者名簿に自筆で署名
受講生証	講座第1日目に発行。受講の際は必ず携行すること。 受講生証の貸し借りや不正使用があった場合は、受講を取り消します。

4. 施設の利用等

図書館利用	1. 図書館は受講生証カードで入館できます。 2. 利用は、閲覧のみとし、図書の出借はできません。 3. パソコン教室の使用はできません。 4. 開館日等は直接図書館(04-7173-3683)へお問い合わせください。
-------	--

受講上の注意:	1. 大学構内に入るときは必ず受講生証を携行してください。 2. 自転車を利用して通学する場合は、自転車登録シールを発行しますので、必ず自転車登録シールを貼り指定の駐輪場に駐輪してください。 3. 学内の環状道路以外は自転車の通行を禁止しています。 4. 講義開始5分前には教室に入室してください。 5. 教室内での飲食はできません。飲食の場合は、校舎あすなる2階Café Loungeか学生食堂2階等をご利用ください。 6. 貴重品は必ず手元において、盗難・紛失等には十分気をつけてください。盗難、その他の事故については、責任を負いかねます。 7. 講座に支障をきたす行為等がある場合は受講をお断りする場合があります。
---------	--

5. 個人情報の収集と利用 「国際理解特別講座」参加の為に必要な提出書類の個人情報については、講座以外の目的に利用することは一切ありません。

6. 問い合わせ先 麗澤大学 学務部 教務グループ (鷲津)
〒277-8686
千葉県柏市光ヶ丘二丁目1番1号
TEL: 04-7173-3605
FAX: 04-7173-3773 E-mail: kyoumu-ka@reitaku-u.ac.jp

以上

国際理解特別講座参加申込書

平成 年 月 日

麗澤大学長 殿

学 校 名

住 所 〒

電話番号

学校長名

_____高等学校は、麗澤大学が開講する国際理解特別講座（以下、特別講座という。）への本校に在学する生徒の参加を希望しますので、別紙の参加者名簿を添えて申し込みます。

なお、この特別講座に対する本校の連絡担当者は、以下のとおりとします。

連絡担当者	職 名
	ふりがな 氏 名
	電話番号
	E-mail :

国際理解特別講座参加者名簿

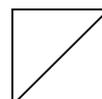
平成 年 月 日

高等学校名 _____

連絡担当者 _____

No.	学 科	学 年	ｸﾗｽ	フリガナ 氏 名	性 別	生年月日 (西暦)	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

用紙が不足の場合は、コピーしてご使用ください。



《参考》

立 高等学校と麗澤大学との連携教育に関する協定書

立 高等学校（以下「高校」という。）と麗澤大学（以下「大学」という。）は、高校と大学における連携教育を実施することに合意し、協定を締結する。

（趣旨）

1．大学は、高校の生徒に対して、大学において特別講座を提供する。

（内容の決定）

2．高校と大学は、特別講座の形態と内容について、毎年度、所定の時期に協議し、決定する。

（受講生の推薦）

3．高校は、生徒の能力・適性・意欲・関心等を勘案のうえ、受講希望者を取りまとめ、所定の時期までに大学に推薦する。

（受講生の決定）

4．大学は、高校から推薦された生徒について、選考のうえ受講生を決定し、所定の時期までに高校に通知する。

（受講費用）

5．受講が決定した生徒は、大学の定める登録料を支払うものとする。

（受講の取り消し）

6．大学は、受講生が、その本分に著しく反する行為をしたとき、または大学の学則に違反したときは、高校と協議のうえ受講許可を取り消すことができるものとする。

（大学の義務）

7．大学は、受講した生徒について、出席管理を行い、成績評価は行わないものとする。

（事故の免責）

8．受講中の不慮の災害事故および受講のための通学途中における事故等については、大学の責任は問われない。

（施設の利用）

9．受講生は、大学の学生に準じて図書館等の大学の施設を利用することができる。

（有効期間）

10．本協定は、双方の署名により発効し、平成 年 3 月 31 日まで有効とする。ただし、有効期間の 6 か月前までに高校または大学の双方に異議のない場合は、さらに 1 年間延長するものとし、以後についても同様とする。

本協定書は 2 通作成し、両者の署名捺印のうえ、各 1 通を保有する。

平成 年 月 日

立 高等学校
校 長

麗澤大学
学 長

平成27年度 国際理解特別講座 講義概要

総合テーマ： 「21世紀の国際理解」

5/9(土) 9:20～10:50 「国際社会に生きる」 下田健人〔経〕

地球上で、おおよそ11億人が一日1ドル以下で生活しています。多くの人たちが、まっとうな仕事(decent work)に就けず、非人間的な生き方が強要されています。21世紀の先進国日本に生きる一人の日本人として、あなたは、世界で起こる貧困をどのように考えるでしょうか。国際社会におけるあなたの責任と役割について、一緒に考えてみたいと思います。

A. 欧米の社会と文化 5月16日(土),5月30日(土) 9:20～12:00 2コマ

5/16(土) 9:20～10:35

「文化がコミュニケーションに及ぼす影響とは」 コシカワ アダム マシュー〔経〕

最近「グローバル人材」という言葉がよく使われるようになりました。しかし、「グローバル人材」とはどのような人のことを言うのでしょうか。多くの方は「グローバル人材とは異なった文化を理解し、日本人以外の人とも効果的なコミュニケーションをする人のことである。」と言います。しかし、そもそも文化とは何なのでしょう。そして文化がどのようにコミュニケーションに影響を及ぼすのでしょうか。もし私達がその関係を理解することができれば、グローバル人材に向けての最初の第一歩を踏み出すことが可能となります。

5/16(土) 10:45～12:00 「多文化社会と英語」 佐藤蘭香〔外〕

英語は、世界中で使用されている言語であるのはみなさんご承知のとおりです。しかし、英語を母語として話している人たちよりも、第二言語として英語を使用している人たちの数の方が多いのは知っていますか？英語は、多様な文化をもつ人々をつなげるコミュニケーションの手段となっています。この講義では、映画を使い、8人に1人がイギリス生まれではないという多文化社会のイギリスの状況に触れながら、英語の役割について一緒に考えたいと思います。

5/30(土) 9:20～10:35

「ヨーロッパの言語と文化-英語圏以外の文化に触れるおもしろさを知ろう-」竹内拓史〔外〕

私たちが普段触れている「外国語」はその多くが英語であるため、外国語 英語スタンダードと私たちは考えがちです。この講座では、政治的、経済的そして文化的にアメリカに対抗する一つの軸であるEUの中心国ドイツの言葉と文化に触れることで、英語の特殊性を明らかにするとともに、英語圏以外の文化を学ぶ意義を考えてみます。

5/30(土) 10:45~12:00

「An Introduction to British Culture」

トリキア マーウイン〔外〕

The lecture will be an introduction to modern British society and culture, covering a brief geography and history of Britain; British identity (the English, Scottish, Irish, Welsh, and non-native British); the Royal family; British food, class, music, festivals, and other popular topics. The lecture will be in the form of a power-point presentation, with notes, pictures, music, and video clips displayed to help students understand the content.

B . 国際関係と国際社会 6月13日(土),6月20日(土) 9:20~12:00 2コマ

6/13(土) 9:20~10:35 「国際人って、どんな人間？」

大場裕之〔経〕

将来、国際関係の仕事をしたと思っている人は、大学で何を学ばよいのでしょうか？英語などの語学だけでよいのでしょうか？どのような能力なりスキルを身につけるべきか、「共創空間（通称マトリックス）」という空間を旅しながら、一緒に考えてみませんか？

6/13(土) 10:45~12:00 「国際社会とアメリカ」

堀内一史〔経〕

アメリカは理念先行の国といわれています。リンカン大統領のゲティスバーグの演説を世界的に有名にした「人民の、人民による、人民のための政治」というフレーズ、「民主主義」というアメリカの理念を端的に表したものです。この直前にあるフレーズ「神の下にあるこの国家に、自由の新生を勝ち取らせること」。これ、日本ではほとんど知られていません。実は、「民主主義」に加えて「神の下にあるこの国家」と「自由」はセットになっています。3つセットでアメリカの理念なのです。授業では、この3つのキーワードに注目しながら「国際社会とアメリカ」について一緒に考えて行きます。

6/20(土) 9:20~10:35 「グローバル化する日本の食料・農業」 阿久根優子〔経〕

日本の食料は、多くを海外に依存しています。環太平洋パートナーシップ協定（TPP）でも、農業の扱いは争点の1つです。さらに国内では、農業・食料は、日本の成長戦略の1つに位置づけられています（首相官邸「新たな成長戦略 ~「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」）。その方針は「Made in Japan（農林水産物・食品の輸出） Made by Japan（「食文化・食産業」の海外展開） Made from Japan（料理界での日本食材の活用）」の3つです。日本と海外での食料生産・消費の現状と将来、日本の食品企業の海外展開を見ていくことで、グローバル化する日本の食料・農業を経済学の観点から考えてみましょう。

6/20(土) 10:45~12:00 「身近な所から考える国際社会における日本の役割」

ヨネスク・マグダレーナ〔外〕

日本が国内で消費されるもの（エネルギー資源、食べ物、あらゆる品々の原料）は海外からの輸入に大きく依存している。特に発展途上国との関係が近年には重要となっている。発展途上国との輸出入が輸出入全体の割合は増しているだけでなく、高齢化や少子化が進んでいる中で、日本経済が発展途上国出身とする労働者に大きく頼らざるを得ない時代もジワジワと近づいている。またこれらの発展途上国も日本への依存度は高い。そこで、特に発展途上国との国際的な相互依存を理解した上で、身近なところから国際社会における日本の役割（政府、企業、個人）を考える。

6/27(土) 9:20~10:50

「映画・テレビ番組を使ってネイティブの英語を学ぶ！」 渡邊信〔外〕

このクラスでは、英語、特に口語アメリカ英語を映画やテレビ番組を使って学ぶ方法を紹介します。まず、アメリカ英語の音声上の特徴をみんなで練習します。そして『アナと雪の女王(Frozen)』の1場面を使って実際に英語がどのように使われているかを観察し、セリフをペアで練習します。特にwant to、going to、got toがそれぞれwanna、gonna、gottaにほぼ例外なく縮約されることを理解しておくことが、口語アメリカ英語を理解・運用する上で必要不可欠であることを示します。

C . いま、アジアを知る 7月18日(土),7月25日(土) 9:20~12:00 2コマ

7/18(土) 9:20~10:35「中国の言語と文化について」 齋藤貴志〔外〕

近いのに遠く感じる隣国、中国。高校生のみなさんは中国(語)のことをどのくらいご存知でしょうか？

「自動車」は中国語でどう書くか知っていますか？『汽车』と書きます。では「汽車」は中国語でどう書くのでしょうか？『火车』と書きます。漢字を使っている言語でもそれぞれ表す意味が違うのです。ここでは単語の違いについて書きましたが、当日は日中間の言語の相違だけでなく、文化の相違についても紹介をし、中国(語)を少しでも身近に感じていただければと思います。

7/18(土) 10:45~12:00「現代に息づく神話の心-日本人の心のルーツを探る-」岩澤知子〔外〕

日本古代の神話の心は、私たちの暮らしの中に、いろいろな形をとって今も息づいています。普段は見過ごしてしまいそうな神社のかたちや、日本の祭りの風景。そこに隠された神話の心を、一緒に探っていきましょう。様々な映像を交え、世界神話と日本神話との相違点をも考察しながら、日本人の心のルーツに迫っていきます。

7/25(土) 9:20~10:35 「韓国の言語と文化」 森 勇俊〔外〕

韓国は日本にもっとも近い隣国であり、両国の言語や文化には多くの類似点が見られます。本講座では韓国語を日本語と比較しながら解説し、日本人にとって韓国語はとても学びやすい言語だということを実感してもらいたいと思います。また、言語の背景にある韓国文化の特質について、衣食住、伝統芸能などを題材に紹介します。本講座を通して隣国への理解をより深めてほしいと思います。

7/25(土) 10:45~12:00 「多民族国家・中国にせまる」 金丸良子〔外〕

人口13億人を越える「超大国中国」は、圧倒的多数を占める漢民族と人口わずか8%ながら55民族を非漢民族(non-Chinese)として公式に認定している「多民族国家」である。1978年から始まった沿海部の「改革開放」政策の影響で、内陸部の少数民族地帯は近代化=漢民族化の政策が推進され、伝統的な民族文化が危機にさらされている。この現実を、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

D . 世界の経済とグローバルビジネス 8月1日(土), 8月6日(木) 9:20~12:00 2コマ

8/1(土) 9:20~10:35 「腐敗と汚職の経済分析」 溝口哲郎〔経〕

官僚が私的な利益を得るために公権力を濫用する「腐敗」の問題は、開発途上国における経済開発における大きな障害として世界銀行などの国際機関を中心に認識されており、その解決策が模索されている。実際の腐敗・汚職の事例分析を紹介し、いかにして腐敗・汚職の問題を経済理論の視点から分析するのかを解説する。また可視化が難しい腐敗の問題をアンケートベースの客観的な指標で測定する腐敗認識度数(CPI)や贈賄指数(BPI)の解説とその応用についても解説をし、いかにして腐敗防止活動を行っていくのかを考えていきたい。

8/1(土) 10:45~12:00 「日中互敬と経済の未来」 陳 玉雄〔経〕

経済的な幸福は、限られた資源に対する合理的な選択を通じて実現される。国際関係においては、相対的な「得意」(比較優位性)の発揮を通じて「互惠」を実現する。「互惠」を確実なものにするためには「互敬」が必要になる。中国は、日本の最大の貿易相手国、日本企業にとって欠かせない市場まで成長してきた。中国経済の成長に大きく貢献してきた日本企業は、これまで以上に中国語ができて中国経済を熟知している人材を求めている。しかし、中国語や中国経済を学ぶ学生がここ数年急減している。経済的な互惠(補完)関係にもかかわらず、国民感情的に相互誤解の構造に陥る今日、「互惠」から「互敬」への道と一緒に考えましょう。

8/6(木) 9:20~10:35

「会社の成績表を読み解いてみない? オール5の会社はどこだ」 篠藤涼子〔経〕

会社ってなんだか遠い存在と思っている? 学校帰りに友達との立ち寄り飲食店、デートにいく遊園地、教室にあるパソコン等は、みんな会社が営んでいます。そして、皆さんと同じように、会社も成績をつけています。会社の成績表は、異なる業種、異なる国、異なる時間等を同じ物差しで数値化しています。ですから、この成績表の物差しがどのような仕組みになっているのかを知っていれば、他の会社の成績と比べたり、自己評価をしたりできます。今日はそんな会社の成績表や、成績表の物差しについて学びましょう。*計算機を持参してください。

8/6(木) 10:45~12:00 「環太平洋パートナーシップ協定(TPP)締結による我が国経済への影響」

徳永澄憲〔経〕

環太平洋パートナーシップ協定(TPP)やASEAN経済共同体などのメガFTA(大規模自由貿易協定)が動き始めようとしています。そこで、TPPを事例として取り上げ、我が国経済への影響を考えてみましょう。関税の撤廃により貿易の自由化が進み日本製品の輸出額が増大します。また貿易障壁の撤廃により、大手製造業企業にとっては企業内貿易が効率化し、利益が増えます。鎖国状態から脱しグローバル化を加速させることにより、GDPが10年間で2.7兆円増加すると見積もられています。TPPなどのメガFTAが発足することになれば、どのように我々の生活は、日本経済は変化するのかを経済学の観点から一緒に考えてみませんか。

8/7(金) 9:20～10:50 「身近な国際理解」

小野宏哉〔経〕

私たちはすでに世界の多くの人々につながっている。

私自身を例に、人が経済社会で活動するなかで、国籍の相違と職業の相違のどちらの影響が大きいか考えてみたい。そのうえで個人にとって国際理解とは人間理解であるということを考えてみたい。

私が携わった物理学、環境政策、国際協力などを取り上げる予定である。

印の講座は、1コマ90分の授業を開講。9:20～10:50

A～Dブロックの講座は、各回とも1コマ75分の授業を1日に2コマ開講。9:20～12:00